

# 平成26年度 福祉保健部長「政策宣言」達成状況報告

福祉保健部長 渋谷 俊 樹

## ○ 平成26年度重要事業

|         |   |
|---------|---|
| 事業名     | 子ども・子育て支援事業計画の策定  |
| 目 標     | 平成27年度から実施する子ども・子育て支援事業計画を策定します。計画に示す子ども・子育て支援施策は、保護者や地域のみなさんのニーズを踏まえ、それを的確に反映したものにします。<br>また、応能負担（保護者の能力に応じた負担）の原則を十分認識し、保育料等の徴収基準、体系等の見直しについて検討します。 |
| 年度末達成状況 | 市民のみなさんのニーズを踏まえ、事業計画を策定しました。<br>また、保育料は、現行の水準を守り、能力に応じ適切な負担となるよう、階層区分の細分化を図り、一部の階層の負担を軽減しました。   |
| 自己評価    | アンケートや市民が参加する会議の実施など、計画への市民ニーズの反映に努めました。また、保育料は、現行の負担水準を守りました。  |

|         |   |
|---------|---|
| 事業名     | 介護予防事業の推進   |
| 目 標     | 「通いの場、交流の場」となる地域サロンなど介護予防、健康づくりに効果的な事業のあり方について検討し、要介護認定者の抑制、要介護度の軽度化に努めます。具体的には、今年度の認定率を前年度（18.3パーセント）以内に抑制するとともに要支援1、2の軽度認定者割合を前年度（22.3パーセント）以上にします。 |
| 年度末達成状況 | 今年度の認定率は、ほぼ前年度並みとなりました。また、軽度認定者割合は、22.9パーセントと着実に増加しています。  |
| 自己評価    | 本市の取組みが、高齢者のみなさんの健康づくり、介護予防意識の向上に少なからず好影響をもたらしたものと考えています。   |

|         |   |
|---------|---|
| 事業名     | がん検診受診率の向上  |
| 目 標     | ヘルスボランティアや医師会のみなさんと連携し、昨年に引き続き受診率の低い地域への勧奨、啓発活動を積極的に展開します。<br>また、新たに3、4か月児健診と同時に母さん向けの子宮頸がん検診の受診案内を行うとともに託児付きの集団検診を実施するなど、20歳代、30歳代で増加傾向にある子宮頸がんの検診率の向上を図ります。 |
| 年度末達成状況 | 大腸、肺がん検診受診者は大きく伸び、胃がんは前年度比28人減と減少幅は小さくなりました。一方、子宮がんは2.6ポイント減少しましたが、20、30歳代の受診者は24ポイント上昇しました。  |
| 自己評価    | 子宮がん検診の託児付き集団検診の取組みは、一定の効果を確かめました。また、内視鏡による胃検診受診者も17ポイント増加するなど新たな取組みの成果が着実に上がっています。   |